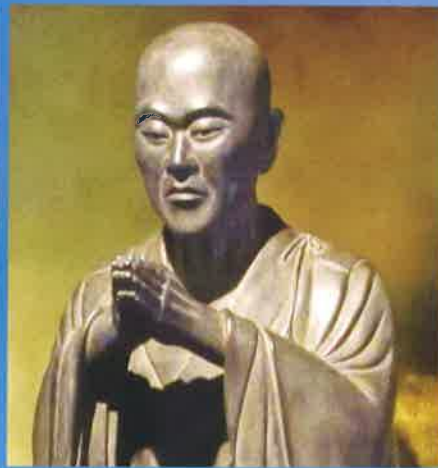


まなざし

まなざしを
変えるに限り
戦争は起こり
平和は来ない

憎しみの心を
捨てろに限り
争いは絶えなく
幸せは来ない

急差別二十世紀の
宇宙のまなざしを持つ
新しい人間の
出現を祈ろう



企画展

坂村真民のまなざし

～坂村真民がみつめていたもの～

2020年

2021年

開催
期間

8月29日[土]～2月14日[日]

開館時間/9:00～17:00[入館は16:30まで] 休館日/月曜日[祝日の場合は翌日]、12月28日～1月1日

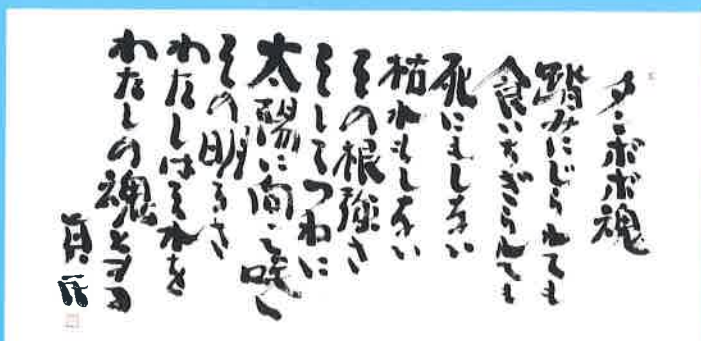
常設展(第1展示室)

「坂村真民の詩の世界」

代表的な真民詩を中心とした詩墨作品を展示しています。

坂村真民記念館

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南705 TEL089-969-3643
<http://www.shinmin-museum.jp/>



坂村真民のまなざし

～坂村真民がみつめていたもの～

今回の新型コロナウイルス感染症への対応の中で、私たちはコロナウイルスと共生し、「新しい生活様式」を実践していくことが求められ、これからの「人間の生き方」についても見直しの議論が深められていくと思います。

しかしそういう時代にあっても、変わらない「人間の生き方」というものがあると思います。時代に左右されない「人間の生き方の根底にあるもの」を、しっかりと受け継ぎ次の世代にも伝えていかなければなりません。

今回の企画展は、「坂村真民のまなざし」という視点から、坂村真民の生き方と真民詩の中に見られる「人間の生き方の根底にあるもの」を見つけ、皆さんと共に「これからの時代の生き方」を考える場として構成しました。

「まなざし」とは、その人の見る眼、その人の生き方、その人の志、という意味を持っています。「坂村真民のまなざし」は、生きとし生けるものへのやさしさと愛情あふれるまなざしです。しかし、自分自身を見つめるまなざしは、いつも厳しいまなざしでした。

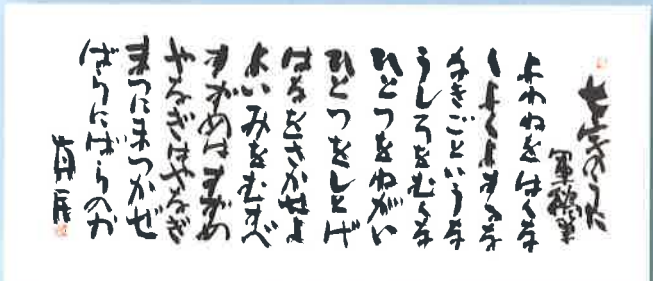
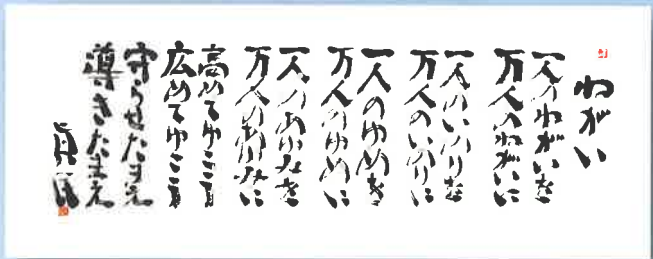
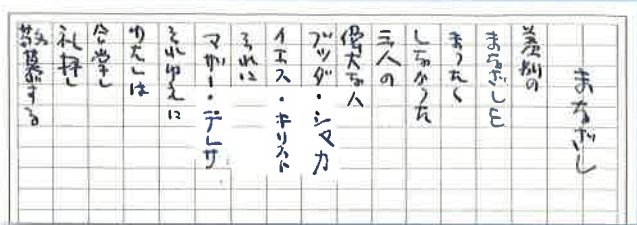
真民は73歳の時に、井上洋治神父の著作「余白の旅」と「イエスのまなざし」を読み、「まなざし」という言葉に魅かれ、78歳の時には「まなざし」という詩を書いています。

その後90歳の時に「千年のまなざし」という本を出版し、「地球人すべてがこの母なる星を平和と幸福のため、守り抜く心を持たなければならない。そのためには、心を、そのまなざしを変えなければならない。それが「千年のまなざし」である」と書いています。

そして91歳になると、「宇宙のまなざし」という詩集を出版し、「宇宙には対立もなく、差別もなく、すべてが平等です。この心を一番持っているのが日本民族です。どうか一人でも多くの人々が、宇宙の心を知り、宇宙への祈りを捧げるようになってもらいたい。どうか、「宇宙のまなざし」を持つ人が一人でも多くなって、母なる星地球を平和で幸福な星とするよう、祈り願ってやみません。」と書いています。

今回の企画展では、「坂村真民のまなざし」について多角的に取り上げ、「千年のまなざし」から「宇宙のまなざし」に辿り着くまでの心の軌跡、真民が敬仰した人の「まなざし」はどんなものであったのか。「真民のまなざし」がいつも見ていた家族、生徒、生きとし生けるものたちは、どのように見つめられていたのか。そのことについて、真民詩の中から「坂村真民のまなざし」が分かる詩を中心に選び展示・解説しています。

どうぞ、真民の「まなざしの詩」をゆっくりと読んでいただき、真民からのメッセージを読み解いていただきたいと思います。そして、これからの人生においてそれぞれの方が、自分の「まなざし」をしっかりと持って生きていくことができるよう願っております。



坂村真民記念館 西澤館長によるミニ講演会のお知らせ

日時 8月30日(日) 11:00～12:00

会場 記念館会議室 入場料 無料(先着50名)

開館9周年記念特別展のお知らせ

「海野阿育と坂村真民の世界 ～版画で見る坂村真民の詩～」

2021年2月20日(土)～2021年6月13日(日)予定
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

坂村真民記念館

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南705 TEL089-969-3643
<http://www.shinmin-museum.jp/>

休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、12月28日～1月1日
開館時間/9時～17時(入館は16時30分まで)

入館料/65歳以上:300円、一般:400円、高校生・大学生:300円、
小・中学生:200円 ※15人以上の団体は団体割引あり

駐車場/普通車約100台、大型バス駐車可

【お車の場合】◎松山自動車道 松山ICから国道33号利用 ◎所要時間:10分～15分
【松山市駅からの場合】◎伊予鉄バス(砥部線 大街道経由)「断層口」または「大岩橋」行き
「砥部焼伝統産業会館前」下車 ◎所要時間:約50分

